

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都日本橋蛸殻町 1-35-5 セイラン水天宮前（本園） 東京都日本橋蛸殻町 1-25-7 澤田ビル 1 階（分園）
園名	キッズラボ水天宮前園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

原体験

<テーマの設定理由>

園の立地環境上、自然と触れ合う機会が少ないため、バスをレンタルして園外へ活動の場を広げている。自然公園や緑地など、季節ごとの自然を身近に感じられる環境を活かし、テーマを選定した。日頃から、動植物や昆虫、落ち葉や木の実などに強い興味・関心を示す乳幼児の姿が多く見られることから、実際に見て・触れて・感じる体験を通して、「これはなんだろう」と不思議に思う気持ちを育み、観察や表現へとつながる活動を意図している。

また、園外活動での気づきや発見を友だちや保育者と共有し、一緒に調べたり話し合ったりする経験を通して、好奇心や探究心、協調性、コミュニケーション力が育まれるよう、本テーマを設定している。

2. 活動スケジュール

6月2日(月)

「海の森公園」(江東区海の森 3-3) 5歳児クラス

7月1日(火)

「東京おもちゃ美術館」(新宿区四谷 4-20) 4,5歳児クラス

9月8日(月)

「魔法の文学館」(江戸川区南葛西 7-3-1) 4,5歳児クラス

10月27日(月)

「いもほり遠足」(江戸川区えどちゃんファーム) 5歳児クラス

11月4日(火)

「原体験キャンプごっこ」(はるの小川プレーパーク) 4,5歳児クラス

12月22日(月)

「キッズニア東京」(江東区豊洲 2-4-9) 5歳児クラス

2月2日(月)

「原体験どろんこ遊び遠足」(はるの小川プレーパーク) 2,3歳児クラス

3月2日(月)

「原体験どろんこ遊び遠足」(はるの小川プレーパーク) 4,5歳児クラス

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

図鑑や絵本、虫眼鏡やスコープなどを使用して、自然の中を自由に散策しながら興味や関心を持ったものに触れ、じっくり調べた。また、発見したことを友だちと共有することで、互いを認め合い、尊重しあえる交流を図った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

【6月】自然の中を友だちや保育者と存分に散策する。さまざまな発見や興味を持ったものについて、その都度五感を使って調べたり、友だち同士で共有をしたりしながら楽しむ。

【7,9月】絵本の世界やおもちゃの世界に触れ、自分が興味を持ったものをじっくりと読んだり遊んだりする。情緒の育ちを促し、自己表現や心の豊かさを育めるよう行う。

【10,11,2,3月】自然の中で土や水などに触れ、存分に五感を使って遊ぶ。水や泥こを使って川や泥団子を作ったり、タイヤやバケツに水を入れて友だちや保育者と協力しあって運んだりしながら、一緒に作る楽しさを味わう。

【12月】年長児で興味を持った「職業」「大きくなったらなりたいもの」をテーマにさまざまな職業体験を行う。実際に体験することで興味関心を深め、世の中にはたくさんの仕事があることを学ぶ。楽しみながら社会性を育む機会となるよう活動を行う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

【6月】広い林の中を自由に散策するワクワク感を味わいながら、「こっちには何があるかな」「この向こう側に行ってみようよ！」と友だち同士や保育者と話し合いながら、あちこち動き回る姿が見られた。ふと、虫や綺麗な花や木の実、葉っぱを見つけては虫眼鏡やスコープを使用して観察をした。普段あまり歩くことのない足場の悪い林の中でも、走りにくそうにしながら元気いっぱい駆け回るなど、たくましい姿が多く見られた。

【7,9月】大好きな絵本の世界に触れ、自分でじっくりと好きな絵本を選んだり、友だちと声を出し合いながら読み合ったりする姿が見られた。絵本の世界のアニメーション試写会では、その世界観に浸り、夢中になってキャラクターと掛け合いを楽しんだ。

絵本への親しみがより深まったことで、園に帰ってからも絵本棚にある貸し出し図書コーナーで、保護者と一緒に借りる絵本を選んだり、その場で親子一緒にゆったりと絵本を楽しんだりする姿が見られた。

【10,11,2,3 月】普段、公園などで少し泥に触れることはあったものの、存分に泥んこ遊びを楽しめる環境は少なかったため、とてもいい経験となった。初めは泥で汚れることに抵抗を示し、「うわー！泥んこ嫌だー！」と手についた泥にびっくりして手のひらを見つめる子どももいた。しかし、保育者や友だちがダイナミックに泥んこの中に入って遊ぶ姿を見て、恐る恐る遊び始めた。そのうち全員が泥だらけになり、掘って作った川やお池にバケツで汲んだ水を運んだり、大きなスコップで更に掘ったりするなど、自由に遊ぶ姿が見られた。最終的には、誰一人泥んこがついた衣服や身体を気にせず、帰る時間ギリギリまで夢中で遊び込んでいた。

【12 月】「大きくなったら何になりたい？」の保育者の問いかけから、子どもたちは自分の将来の夢や未来についてワクワクしながら考え、友だちの意見を聞いて「僕はね…」「私はね…」と、思いを巡らす姿が見られた。体験後は更に夢が広がったようで、「こんなこともやってみたい！」と口々に話していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

様々な原体験をすることは、乳幼児期にとっても大切だと感じた。

今回、自然の中での散策体験や泥んこ遊びを通して、子どもたちは伸び伸びと大胆に遊ぶことが出き、とても良い経験となった。泥や自然があれば、遊びも子どもたちの中で自由に広がり、保育者は安全の確保や環境整備、楽しむアドバイスをしながら見守ることの大切さを実感した。

いつもの公園での戸外遊びでは体験できない冒険的な遊びを実現できたことで、子どもたちの満足感や「また行きたい!!」「とっても楽しかったよ！」の声を聞くことができ、とても嬉しく感じた。

多くの遊びを「危ない」「汚い」と避けるのではなく、しっかりと環境を整えたうえで挑戦させることが、子どもたちにとって心地よい刺激となる。友だちと協力しあって一つのことを成し遂げる経験は、子どもたちの心の成長にも良い影響を与えらると思った。

今後もこのような機会を増やし、都会の真ん中でありながらも自然と触れ合う遊びを多く取り入れていきたい。子どもたちと保育者が一緒に遊びを楽しみ、達成感を得ることで成長につなげていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都日本橋蛸殻町 1-35-5 セイラン水天宮前（本園） 東京都日本橋蛸殻町 1-25-7 澤田ビル 1 階（分園）
園名	キッズラボ水天宮前園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

運動（体幹）

<テーマの設定理由>

- ① 体操教室や屋外遊び（生活道路や公園）の減少、遊びの制限などから、子どもたちが身体を十分に動かす機会が少なくなってきた。また、生活の利便化や生活様式の変化により、運動が苦手な子どもも増えている。
定期的に体操教室を取り入れ、専門的な知見を持つ講師と連携しながら、体幹を鍛える運動遊びを行っている。園の強みである安全に配慮した運動環境を整えることで、自分の身体を自分でコントロールする力を身につけることができる。幼児期から身体を動かす楽しさを味わい、運動能力の向上や生涯にわたる健康な身体づくりにつながるよう、本テーマを設定した。
また、柔軟体操や模倣運動を取り入れることで怪我の予防を図るとともに、保育者との関わりを通してコミュニケーションを深めていく。基礎的な運動を遊びの中で楽しく経験することで、筋力や体幹を育み、集中力の向上にもつなげていく。
- ② トランポリン遊びを通して、運動発達において重要な平衡感覚やバランス能力を養い、自分の身体をコントロールする力を身につけることを目的に、本テーマを設定した。
体操教室の講師からの専門的な助言を受けながら、保育者が子どもの発達段階や個々の特性に応じた運動活動を取り入れられる体制が整っている。配慮が必要な園児がいる中でも、ジャンプ動作を無理なく経験できるトランポリンは、身体と心の安定にもつなげる安全で効果的な活動として取り入れている。
また、普段の保育の中でも室内で多様な動きを取り入れた運動遊びを行っており、楽しみながら心身の発達を促すことができる点も特徴である。
トランポリン遊びを通して、身体で表現する楽しさを味わい、動きの幅を広げることで、自己表現力や意欲の向上にもつなげていく。

2. 活動スケジュール

- ① 体操教室（2,3 歳児・4,5 歳児の 2 グループでの開催（各 30 分ずつ月 1 回）
6/25(水)、7/23(水)、8/20(水)、9/10(水)、10/22(水)、11/19(水)、12/17(水)
1/21(水)、2/18(水)、3/11(水)
- ② 「トランポリンあそび」（各クラス週 1 回程度）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ① マット、鉄棒、跳び箱、平均台、縄跳び、飛び石
- ② エッグシェイカー、リズムスティック、パネル、カラスカーフ、タンバリン、鈴、カスタネット

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ① 『身体のバランスをとる動き』 立つ、座る、寝転ぶ、起きる、回る、転がる、渡る、ぶら下がるなど。
『身体を移動させる動き』 歩く、走る、跳ぶ、登る、下りる、這う、よける、すべるなど。
『用具などを操作する動き』 持つ、運ぶ、投げる、捕る、転がす、蹴る、積む、こぐ、掘る、押す、引くなど。
これらの動きを多く取り入れ、各レッスンの年齢に合ったテーマを設定する。基礎作りをしっかりと獲得できる「サーキット運動」を取り入れ、子どもたちが遊びの延長として楽しみながら、分かりやすい模倣を交えて行う。
- ② トランポリンでは、バネの力と自分の力を使って飛び跳ねることを繰り返し楽しむ。
サーキット遊びに取り入れ、10 回跳んだら交代するなど簡単なルールを設け、順番に遊ぶ。
バランスストーンやマット、平均台を用いて、動物になりきるなどさまざまな動きを取り入れながら、身体を動かす楽しさを味わう。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ① 指導員や保育者の声掛け、サポートによって、チャレンジしてみたい気持ちが高まった。笑顔で挑戦する子どもや、初めての動きに少し緊張した様子の子どももいた。各年齢に合わせて難易度を変えたり、理解しやすいテーマや想像しやすい声掛けを行ったりすることで、出来たり頑張った時に褒められると、とても嬉しそうに飛び跳ねたり、「もう一回やってみたい！」と口々に言う姿が見られた。少し難しいことにも挑戦し、出来たり出来そうになったりする経験を通して、自信を持ちながら楽しく身体を動かし、達成感を味わうことができた。自分の身体を自分でコントロールする力を自然と身につける良い経験となったので、引き続き取り組んでいきたい。
- ② ジャンプすることを好む子どもが多く、順番に楽しみながら何度も並んでは挑戦する姿が見られた。また、他の遊具と組み合わせてサーキット遊びに取り入れることで、達成感とチャレンジ精神を感じながら繰り返し楽しんでいった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

体操教室を行うことによって、保育者が改めて幼児期の運動遊びの大切さを感じる事が出来た。また、「自分の身体を自分でコントロールし、運動遊びを通じて怪我をしない身体づくりをすること」を軸におき、子どもたちが楽しく取り組める運動遊びを講師と一緒に計画した。子どもたちが「ここまで出来る！」「もっとこんな風にこんなことをやってみたい！」と自然と意欲を持つ姿に感動した。月齢ごとに遊びを工夫し、子どもたちの自由な発想から遊びを展開することの大切さを改めて実感した。今後も子どもたちの遊びをさらに広げていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都日本橋蛸殻町 1-35-5 セイラン水天宮前（本園） 東京都日本橋蛸殻町 1-25-7 澤田ビル 1 階（分園）
園名	キッズラボ水天宮前園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

情緒・表現（英語リトミック・絵本）

<テーマの設定理由>

①タンブリンなどの打楽器やリトミック活動を日常保育に取り入れ、子どもが音やリズムに親しめる環境を整えている。この環境を活かし、楽器を叩く・振ると音が鳴ることに気づき、音の面白さや違いを感じ取る経験を通して、表現する楽しさを味わえるよう、本テーマを設定した。

活動の中では、見立て遊びを取り入れ、音や動きを通して自由に表現する力を育む。細やかなリズムや強弱を自然に表現できるよう促し、楽器や身体の動きでリズムを体感することで、基礎的なリズム感を無理なく身につけることをねらいとしている。

さらに、リトミックを全編英語で実施できる体制を園の強みとして活かし、英語・音楽・リズム表現を組み合わせた活動を通して、楽しみながら多様な表現に触れ、季節や行事を取り入れたテーマを取り入れている。

②絵本は、子どもたちの情緒発達や言語能力の育成に役立つ。絵本の文章ややり取り、セリフから語彙や表現の幅を学ぶとともに、聞く力も育まれる。絵本の世界を通して、実際には見たり体験していないことを想像したり、感情を思い描いたりする力も養われる。また、絵本を通じてルールやマナー、思いやりを学ぶきっかけにもなる。

絵本の表紙が見える形の絵本棚を設置し、子どもが自ら興味のある絵本を手に取り、自由に読むことができる環境を整えている。この園の環境を活かし、絵本を通して情緒の安定や想像力、言語能力を育むことを目的に、本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

【英語リトミック】6/5,10,19,24,26・7/2,10,17,31・8/7,22,27・9/4,11,16,22
10/10,16,23,30・11/26,28・12/1,11,25・1/16,29・2/12,26・3/12,26

【絵本】読み聞かせは毎日行っており、貸出し図書も基本的に毎日 16:00～18:30 の時間で実施している。保護者と一緒に好きな絵本を選んだり、一緒に読んだりしながら絵本の時間を楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【英語リトミック】（エッグシェイカー、リズムスティック、スカーフ、カスタネット、タンバリン、鈴、絵パネル、テーマに沿ったオブジェ（ハロウィンやクリスマスツリー） 音符パネル、）

【絵本】100冊絵本、絵本棚

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①・ピアノの音やビート、リズムに合わせて、色んな動物になり、その動きを自由に表現して楽しむ。
 - ・タンバリンをハンドルに見立てドライブごっこや、エッグシェイカーやリトミックスティック、オーガングースカーフを使って自由に表現をする。
 - ・ピアノの音をよく聞き、身体の動きと連動させながら、4拍子や8拍子などのリズムを聞き分ける動きをする。
 - ・英語でのやりとりやフレーズに触れ、自然に耳慣れしながら楽しむ。

- ②・子どもたちが好きな絵本を読んだ後、絵本に出てくるキャラクターになりきって動いたり、歌や手遊びで表現を楽しんだりする。月齢に応じて劇ごっこなど簡単なやりとりを通して、絵本の世界を楽しむ。幼児組では、セリフや動きを子どもたちが発想し自由な表現をする。
 - ・園内（本園、分園それぞれ）には、絵本コーナーを設け、保育時間中やお迎え時に、自由に絵本を楽しむことができる。貸出図書も行い、保護者と園児が自由に絵本を借りて家庭でも楽しむことができる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

【英語リミック】

1～5歳児クラスで英語リミックを行い、「聴く力」が大きく育った。子どもたちは自然と英語でやり取りをしようしたり、さまざまなリズムを身体や道具、楽器を使って表現しようしたりする。また、月ごとのテーマに合わせた英語を覚え、リズムや音の高低、強弱にも反応し、音符の絵を見るだけでリズムを口ずさむ姿も見られるほど、音楽に親しみながら楽しんで活動している。

【絵本】

絵本のページを自分でめくり、次の展開をワクワクしながら見る姿が見られた。友だちと一緒に同じ絵本を見たり、幼児クラスはゆったりと自分たちで絵本を読んだりする様子があった。また、一人が先生役になって読み聞かせごっこを楽しむ姿も見られた。クラスで気に入った絵本の朗読を皆の前で披露した際には、少し緊張しながらも表現することを楽しむ姿が見られた。貸し出し図書では、保護者と一緒にゆったりと絵本を選ぶ時間を楽しみ、毎日のように交代で借りていく姿が見られる。貸し出し図書コーナーは、子どもたちで大盛況となっている。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

【英語リミック】

月齢や季節に応じてテーマがあり、全編英語で行うことで、自然と英語に親しみ、リズムや表現を自由に楽しむことが出来た。子どもたちは毎回この時間を楽しみにしており、笑顔で生き活きと参加する様子が見られた。活動の中で歌やダンスに自然と親しみ、友だちと共有することも楽しい活動となったと感じた。

【絵本】

絵本の世界を楽しむことで、気持ちの表現や、作画の楽しい雰囲気を感じる事が出来て良かった。絵本のセリフのやり取りや、リズムのある言い回しの楽しさを感じながら繰り返し読み、友だちや保育者と楽しみを共有できることも、絵本の大きな魅力の一つだと感じた。また、絵本の世界から「劇ごっこ」や「なりきり遊び」に広がっていく様子も見られた。

子どもたちの発達や情緒の成長に応じて、色々な楽しみ方が自然と広がっていくことを実感しており、今後の保育にも活かしていきたい。